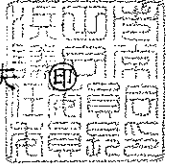


平成 28 年 7 月 26 日

浜 田 市 議 会  
議 長 西 田 清 久 様

議会広報広聴委員会  
委員長 芦 谷 英 夫



## 委員派遣報告書

下記のとおり、派遣しましたので報告します。

### 記

1 期間 平成 28 年 5 月 16 日（月）～ 18 日（水）

2 場所及び目的

(1) 群馬県 桐生市  
議会情報発信事業について

(2) 東京都 あきる野市  
市議会広報紙について

3 精算額 1人当たり 71,870 円

4 派遣委員名

芦谷 英夫 申崎 利行 足立 豪 岡野 克俊

柳楽 真智子 小川 稔宏 野藤 薫 飛野 弘二

平石 誠 牛尾 昭

..

5 随行 主任主事 田中真佐子

6 調査の概要 別紙報告書のとおり

平成 28 年 7 月 26 日

## 議会広報広聴委員会視察報告書

議会広報広聴委員長 芦谷 英夫

1 期 間 平成 28 年 5 月 16 日（月）～5 月 18 日（水）

2 視 察 先 （1）群馬県 桐生市

（2）東京都 あきる野市

3 視察項目

○群馬県 桐生市：議会情報発信事業について

○東京都 あきる野市：市議会広報紙について

4 議会広報広聴委員会

芦谷 英夫..... 串崎 利行..... 足立 豪..... 岡野 克俊

柳楽 真智子..... 小川 稔宏..... 野藤 薫..... 飛野 弘二

平石 誠..... 牛尾 昭..... 随行：田中 真佐子.....

### ○議会情報発信事業について

#### **【群馬県 桐生市】**

##### 1. 市の概要

桐生市は群馬県の東南部に位置し、栃木県の足利市と接し、西は赤城山まで達しています。東京には直線距離で 90 キロ、車で約 2 時間、東武鉄道で約 1 時間 40 分、JR で約 2 時間で結ばれている。

市制施行は大正 10 年 3 月 1 日、全国で 84 番目・群馬県で 3 番目、今年で 93 年目を迎える。

市街地には渡良瀬川と桐生川が流れ、山々が屏風状に連なり、水と緑に恵まれた地に歴史と伝統が息づいています。桐生の歴史は古く、市内からは縄文時代の石器・土器、住居跡が発掘され、なかでも千網谷戸遺跡から出た耳飾りは国の重要文化財に指定されている。

桐生の織物の起こりは古く、奈良時代のはじめには絹織物を朝廷に献上し、江戸時代には「西の西陣、東の桐生」とうたわれ、織物の一大産地となった。

織物産業の繁栄を今に伝える町並みがいたるところに残り、のこぎり屋根の織物工場や土蔵造りの店舗など近代化遺産の宝庫となっている。

桐生は今でも織物の糸へんで生きるまちですが、近年は自動車関連部品やパチンコ台の製造など機械金属産業が基幹産業となっている。

人口は116,316人で、世帯数は49,871世帯(平成27年)

## 2. 議会の概要

議員定数	条例定数：22人
議員任期	～平成31年4月
正副議長	議長：森山 享大 副議長：小滝 芳江
議会運営委員会	8人（委員の任期は2年）
常任委員会	総務委員会8人・経済建設委員会7人、教育民生委員会7人、
特別委員会	水質調査特別委員会11人、合併及び地位政策調査特別委員会11人

## 3. 視察内容

5月17日10:00～11:30

桐生市議会会議室において、森山議長～挨拶を受ける。

その後、桐生市議会の概要を議会事務局の 森広一係長から説明を受け、また視察事項の「議会情報発信事業について」は事務局議事課 河合恵子主査より説明を受けた。

森山議長は公務で席を外されたが、事務局説明後に戻られ、私達の質問に丁寧なる答弁を頂いた。

### ① 概要

#### ● 平成23年 7月：議会報告会・意見交換会の開催

各定例会における議決結果などの内容について、市民に直接報告する機会を設けるとともに、市政に関心の高い市民との意見交換会を実施している。(各定例会終了の1ヶ月後)

#### ● 平成23年10月：議長交際費の公開。

議長や常任委員長などの公務での慶弔行事や懇親会などの参加交際費を、ホームページで公開している。

#### ● 平成24年 2月：議案の賛否の公開

本会議での議案などの表決について、市議会だより及びホームページで、議員個々の賛否を公表している。

- 平成24年 3月：議員提出議案、請願・陳情等のHPでの公開  
各定例会で提出された議員提出議案、請願・陳情等をホームページで公開している。
- 平成25年10月：FM放送を利用した議会情報番組の発信  
「市民に開かれた議会」をより充実させる為、FM放送を媒体として、全議員が順番で出演し議会や市のPR、一般質問の説明などを発信。過去の放送はHPで音声データ及び文字データで閲覧できる。  
また、議会事務局によるツイッターやフェイスブックによる情報発信開始。
- 平成25年12月：インターネットによる議会中継  
平成25年第4回定例会からインターネットによる本会議放映を実施尚、ケーブルテレビでも本会議及び予算・決算特別委員会が放映されている。
- 平成26年3月～27年9月：議長記者会見の開催  
議会の活動を広くお知らせする為に、本会議における活動のほか、休会中の活動について、記者会見を実施し議長による情報発信を行った。  
現在は「各定例会終了後」から「必要に応じて実施」に変更している。

#### 【質疑応答】

Q：議会だよりは議員が作るのか？

A：議会事務局で作っている。この委員会の議員でチェックする。

Q：昨年、鎌倉市議会のオープンミーティングを視察した。桐生市はどのような形で？

A：意見交換は対面式で、年四回定例会終了一カ月後に報告を主にやっている。議員全員で市内公民館を順番に開催。4年でほぼ一巡した。今後は各種団体との意見交換会を実施したい。まず大学生の団体とする予定だ。毎回各地区を回る事はしない。

Q：CATVや地域FM、インターネット中継は生放送なのか、発言訂正は編集するのか？

A：すべて生放送です。発言は訂正できないが、インターネット録画配信はテロップで発言の訂正が有る旨を流す。また音声をカットする事も有る。

Q：FM 桐生の議会情報番組に対する市民の視聴割合や反応は？

A：コミュニティFMなので山間地は聞こえにくい。市街地はほぼカバーしている。定例会の議事録の様な内容で市民の反応は余り無かった。生放送、原稿も事前チェックされ、面白みが無い。現在は休止している。  
LINEやユーストリームとかも検討中。

Q：一般質問の質問答弁で40分との事だが、詳しく聞きたい？

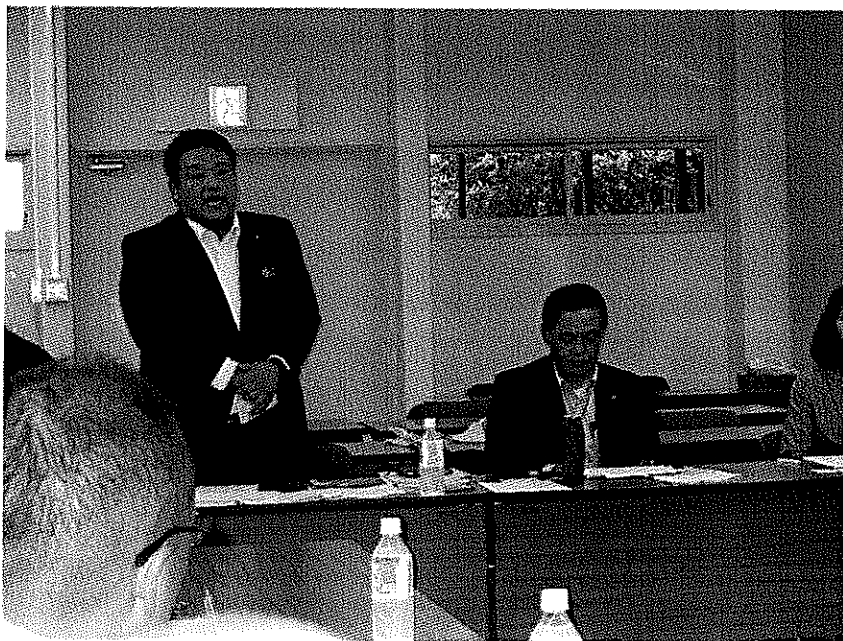
A：正副議長は質問オーケーだ。質問答弁40分なので時間が読める。桐生市議会の一般質問は二日間だ。職員の残業を出さないが合言葉だ。  
議員間の時間の公平性も担保している。

Q：議員のSNS利用に対する自主規制などは有るのか？

A：議会発信は事実のみ、コメントを頂いても返信はしない。シェアはする。  
以前除名された議員がツイッターで炎上した。議会に批判が殺到した。議員はリテラシーは持っていると思う。何かあれば、倫理条例が有るのでそこです。

Q：定例会後、議長が定例記者会見をされていたが？

A：議会として発表する事が余り無かった。(記者は傍聴しているので)現在は定例をやめた。



公務後戻られ、説明される森山議長。



議会会議室で事務局より説明を受ける。

## 【まとめ】

早稲田大学のマニフェスト研究会の議会改革度ランキングで常に上位をキープしている桐生市議会を訪問し、市民に開かれた議会を目指し、試行錯誤しながら、様々な事を実施されており、森山議長のエネルギッシュなリーダーシップと、開かれた議会を目指すという目標に向かって、議会が一体となって歩んでいる事を感じた。

とにかくやってみると言う姿勢、様々な手法で市民へ議会情報を発信し続ける姿勢に大変勉強なった。

浜田市議会においても、議会報告会の開催について様々な試みをしており、良い所はどんどん取り入れ、情報公開を行い、開かれた議会を目指して努力していきたい。

## ○市議会広報紙について

### 【東京都 あきる野市】

#### 1. 市の概要

あきる野市は、都心から 40～50 キロメートル圏に位置し、秋川と平井川の二つの川を軸として、比較的緩やかな秋川丘陵、草花丘陵に囲まれる平坦部と、奥多摩の山々に連なる山間部から形成されている。東は福生市、羽村市、西は檜原村、奥多摩町、南は八王子市、北は日の出町、青梅市に接し、平坦部は秋留台地からなり、南に秋川、北に平井川が流れ、市街地は二つの川沿いに形成している。

平成 7 年秋川市と五日市町が合併して、あきる野市が誕生した。

「あきる野」の名称は、この地域の中心に広がり、地域発展の受け皿として期待されている平坦部を秋留台地と呼ぶなど「あきる」の名称は地域に親しまれてきた。

新市誕生に向け、地域一帯の呼び名であり、歴史があることや、未来へ発展する期待がこめられていること、ひらがなにすること、により、親しみやすいこと、緑豊かな自然や中心部である秋留台地をイメージできる等の理由により「あきる」の末尾に「野」を加え、多摩川を境に東の平野の「武蔵野」に対し、西の平野をあきる野とし、新市の名称を「あきる野市」とした。

人口は81,483人で、世帯数は34,570世帯(平成28年)

## 2. 議会の概要

議員定数	条例定数：21人
議員任期	～平成30年6月
正副議長	議長：町田 匡志 副議長：戸沢 弘征
議会運営委員会	7人
常任委員会	総務委員会7人・環境建設委員会7人 福祉文教委員会7人
特別委員会	JR五日市線改善特別委員会7人

## 3. 視察内容

5月18日9：30～12：00

あきる野市議会 会議室において、桐生市議会広報広聴委員会の田端副委員長から挨拶、概要の説明があり、また同席の田中委員、辻委員、子籠委員からも補足説明を受けた。

### 概 要

平成20年市議会職員が参加した研修会で、30自治体の議会だよりの中で低評価だった。以前の市議会だよりは、合併した旧五日市町の議会だよりが高評価だったので、それを少しリニューアルし踏襲していた。

議会だよりを市民に手に取って貰い、見て貰う為、議会の中で調査研究グループ（議員3名、職員1名）を設置した。

平成23年10月リニューアルのアンケートを取る事になった。

全国から、先進的な自治体の議会だよりを取り寄せ、市民アンケート（270名）を実施した。その結果、あきる野市議会だよりは4%だった。この結果を受け、24年5月内容を検討し、編集委員会へ提案、代表者会議を経て、リニューアルが決定した。

「手にとってもらえる表紙づくり」と「気付きをあたえる表現方法や読みやすさの工夫」をキーワードに平成25年2月1日発行の第70号からと決める。

毎号、読み手のターゲットを決めた内容、特集を入れ、表紙は特集とリンクしたものとし、タイトルを「**ギカイ**の時間」（生活に直結する議会の活動を知って貰う時間にして欲しいとの思い）とした。



紙面については次の事を考え検討した。

- 読みやすさを一番に考え、導線、ホワイトスペース、統一感、をそろえる。
- 裏表紙は小学生が夢を語るコーナーとスケジュールや啓発的な記事の掲載とする。
- 議案審議・一般質問は行政用語を「通じる言葉」に、知らせたい事と知りたい事の差、読んでほしい量と読める量の差、つまり市民目線。

### 【質疑応答】

Q：特集は誰が決めるのか？

A：2年間の特集の候補を出し、そして2人組で担当し適任者を決定する。特集の内容の順番はバランスを取っている。

Q：リニューアルへの障害はあったのか

A：今までで何が悪いとの意見があった。しかし読まれていますか？税金を使うので読んで貰わないと無駄になると説得した。

Q：リニューアル後、紙面に対してのクレームは

A：文字の大きさに対しては有ったが、紙面の配置に対しては無い、なるべく紙面をシンプルにすることを心がけている。

Q：議案の賛否などは掲載しないのか

A：条例などは字数が多く表にすると見にくい、HPで公開している。浜田市の市議会だよりの方が良いように思う参考にしたい。

Q：一般質問の広報形式は決めているのか

A：本人に任せている、内容についてもそうしている。議事録に無いものは削除をお願いしている。

Q：コストや配布についてはどの様になっているのか

A：紙質は下げ、とじ穴をあけない。印刷会社は2社で入札にしている。全面カラーだがコストは下がった。

Q：紙面への考えは

A：写真のキャプションも載せないようにしている。

読みやすくする事＝如何に字数を少なくするかが大本命だ。



説明される田畑 副委員長

#### 【まとめ】

リニューアル後のあきる野市の市議会だよりは全国からの視察希望が殺到している。

浜田市議会も視察希望を出しても都合が合わず、3年越しでの視察となった。

一見すると、フリーペーパーのように見えて、手にとってみたくなった。表紙や特集が色々な事に頑張っている市民の方で、人間の魅力が伝わってくる。

紙面の大きさのわりに文字数が少なく、空きスペースが広いような感じを受けたが、手軽に読んでみようという気にさせる紙面づくりで、常に読み手の事を考えて編集をされている。また、他の媒体（HP、動画、ツイッター）との連携を想定して、紙面については以前のものに比べ、よりシンプルにより身近に、と編集されている。

あきる野市の紙面づくりを参考にして浜田市の議会だよりの次号から取り入れられる所は取り入れる、という考えでリニューアルをしていきたい。